

(第2号様式)

真和志第2321号
令和7年3月11日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立真和志高等学校
校長 屋 宜 宣 安
(公印省略)

令和6年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和6年12月11日付け教県第1582号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和6年7月16日(火)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中4人出席
第2回	日時	令和6年12月16日(月)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中4人出席
第3回	日時	令和7年2月6日(木)	場所	本校会議室	出席 状況	評議員4人中3人出席

2 学校評議員に求めた事項

- ①各学期における教育活動報告(生徒の活躍・進路指導状況・生徒指導状況等)に対する意見・助言
- ②学校経営ビジョンに対する意見・助言
- ③授業観察
- ④学校評価アンケートへの指導助言

3 学校評議員の意見

- ①学校アンケートにおける結果生徒指導と生活習慣で職員の肯定的な意見が100%となっている。(職員が手厚く指導・支援を自覚を持って行っている証拠で)これが退学者休学者等の減少に繋がっていると思う。
- ②今、課題となっている【指導チケット】の継続はどのようになっているのか。また、ポジティブカードを集計して評価するのはどうか。全体集会で表彰など検討してはどうか。
- ③目的意識がないまま入学する生徒が多いと思うがどう支援するかが今後の課題。
- ④学校外学修に関して、今は繁多川公民館だけだが今後は広げていくと良いのではないか。

4 学校運営に反映した事項

- ①65%の課題を抱えた生徒をどう成長させるか、単位制の特色を活かした教育課程の編成を検討しており、将来的には学科改編に向けて取り組む。
- ②チケット指導については、本校では、生徒の注意喚起指導として活用しており、コミュニケーションツールとして継続して使用する予定である。
- ③総合的な探究の時間を抜本的に変え、目的意識を持って活動できるよう外部企業と連携し、生徒同士交流をしながら学びを深めていく取組を行う。
- ④教える側ではない大人との交流が大切と考えており、令和7年度から公民館と連携して【地域貢献学】(新設科目)を設定して地域の課題を解決できる生徒を育成する取組を行う。

5 課題その他

- ①教育相談の課題解決においては、より良い人間関係構築やソーシャルスキルトレーニングが重要。
- ②学校外学修に関しては、地域との連携方法の工夫改善。
- ③特色ある教育課程の編成として地域との連携方法について工夫改善。
※学校設定科目【地域貢献学】、【ボランティア・就業体験活動での単位認定】等を工夫する。
- ④時代に即した生徒指導の工夫改善。